

初期生育確保に今が重要な時期です。  
水交換や田干しを行い、浅水管理で分けつを促進しましょう！

## 1 5月下旬の天候により、莖数・葉数はやや遅れぎみ

多くの圃場で移植作業の行われた5月第2～3半旬は、平均気温が高く経過し日照時間も十分に確保されたため、全般に活着は良好でした。

しかし、分けつや葉数が増加する第4半旬以降は降雨や曇天が続き、平年よりも日照時間及び気温の日格差は少なく経過したため、葉数は平年並からやや遅れて進んでおり、5月31日時点で分けつは始まろうとしている状況でした。

表1 生育概況（5月31日調査、庄内普及課作況圃）

	本年移植日	項目	草丈(cm)	莖数(本/m <sup>2</sup> )	葉数(葉)
はえぬき (矢馳)	5月16日	本年値	24.0	125	5.0
		平年値	24.5	140	5.2
		平年比・差	98	89	-0.2
つや姫 (上清水)	5月12日	本年値	33.4	111	5.0
		平年値	26.9	119	5.1
		平年比・差	124	93	-0.1
雪若丸 (長沼)	5月13日	本年値	18.3	118	4.5
		(前年値)	(19.5)	(109)	(4.8)
		(前年比・差)	(94)	(108)	(-0.3)

※平年値：過去5年平年値

## 2 ⚠️ 圃場を確認し「水交換」「田干し」を実施！「浅水管理」を徹底 ⚠️

一発除草剤散布前の水交換を行えた圃場が少なかった

除草剤散布後の止水期間終了後、すぐにワキ対策を実施

水交換が不十分な圃場を中心にワキが見え始めています。

下記の表を参考に、ワキの程度に応じた水交換等を行い、「早めの対策」を取りましょう。

表2 ワキの程度と対策方法

ワキの程度の目安	生育への影響	生育初期の対策
水田に足を踏み込むとわずかに気泡の発生がみられる	なし	—
水田に足を踏み込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	速やかな水交換
水田に足を踏み込むと盛んに気泡を発生する	根張り不良	田干し、夜間落水

水尻を調整して浅水管理（2～3cm）を徹底

降雨により深水管理になる圃場が見られます。水尻等を調整して「浅水」をキープ！

浅水管理（2～3cm）を基本に、日中止水・夜間灌水により、分けつ発生を促進しましょう。